



宮川 泰 議員

○子育て支援策としての学校給食費の無償化実現に向けて ○長岡の昭和橋工事に関わる状況と児童の通学ルートについて



録画配信はこちら

学校給食費無償化の実現に向けて

問 近年、学校給食費の無償化に踏み切る自治体が相次いでおり、令和5年9月1日時点で、全国1794自治体のうち547自治体が小中学校で全員を対象に学校給食費の無償化を実施している。物価高が家計を直撃し深刻な問題となっている中、本市では生活保護、就学援助に該当されないご家庭でも貧困化が進むのではと懸念する。誰もが安心して子どもを健やかに育てられる社会作りのために学校給食費の無償化を実現し、市民の生活・幸せに寄り添っていくべきと考える。無償化実施のための議論をする時はすでに来ていると考えるが見解は。

答 経済的な理由などで支援が必要な児童・生徒の学校給食費については、就学援助制度により支援を行っており、今般の給食食材の物価高騰による値上がり分については、保護者にその負担を求めることがないよう市がその分を負担しています。このように学校給食費については、保護者の負担を可能な限り軽減できるよう、多くの経費を市が負担していることから、これまでどおり食料費のみを保護者の皆さんに負担いただきたいと考えています。

問 昭和橋工事に関わる状況と児童の通学ルートについて



10月7日の地産地消の給食
米原市東部給食センター

答 工事の完成時期は、令和7年8月には完成し、2学期からは通行できるよう工事を進めている状況です。
問 天野川の近江長岡駅側の児童は、近くの近江長岡駅を集合場所としてスクールバスを利用して利用している。昭和橋完成後も、集合場所を元の山東支所に戻すことなく、JR東海に働きかけて、児童やスクールガード、さらに当番制の保護者の負担にならないようにしてはどうか。



工事前の近江長岡駅側の通学ルート

答 昭和橋架け替え工事の施工期間中に限っては、集合場所を近江長岡駅前に変更し、スクールバスを利用して駅前から学校まで通学する方法に変更しています。このことから、工事完了後は、保護者や地域の見守り活動などの協力をいただきながら工事施工前の通学方法に戻したいと考えています。

ここが知りたい
聞きたいQ&A 一般質問